

浄土真宗本弘寺婦人会だより

平成20年9月 第26号

毎月18日の秦野別院の定例法話に寄せていただいておりますが、春秋の年2回「青空説法」ということで、別院近辺の秦野の自然の中で法話を聴聞させていただいております。その後、食事をしながらの座談会もあり、和気あいあいとした和やかな時を過ごさせていただいております。青空説法の日には本弘寺本院から貸し切りバスにて秦野へ向かいますので、是非皆様もご参加ください！

～青空説法に寄せて～

「そよ風に ウグイス鳴く ヤビツ峠 親鸞法話に 命いただく」

矢部克子

「青空説法聞きて頷けば、風もそうねと頬を優しく優しく撫で通る。
木の葉もうんうんと頷き揺れて見せ、小鳥は空高く舞を舞い見せ、
生きとし生けるものすべてに忘れ得ない感動をありがとう。」

M.K

～親鸞聖人御旧跡参拝に寄せて～

「心のふる里を訪ねて」

爽やかな初夏を感じさせる5月、本弘寺婦人会による「親鸞聖人御旧跡参拝」の旅が企画されましたので、私も参加させていただきました。日曜礼拝で馴染みの御同朋の方々も多く、念仏に包まれた和やかな雰囲気の一泊二日の旅。まさに、俱会一処に通じるような・・・そんな気がいたします。

最初、聖人の往時を偲び「小島草庵跡」に寄る。聖人の御苦勞に涙がこぼれる。次いで聖人法難の遺跡「板敷山大覚寺」に立ち寄り山麓の静かなたたずまいの茅葺きの本堂で聖人を偲びながら参詣させていただき、客殿で見事な裏見無しの庭園を拝観しながら湯茶の接待を受ける。その後何故か心和むような懐かしいふる里の温もりのようなものを感じながら、今日の宿坊「稲田御坊西念寺」に入る。

立派な本堂で夕時勤行の後、住職より西念寺の縁起を拝聴させていただく。聖人はこの稲田の草庵にて「教行信証」六巻の草稿をまとめられたこと。恵信尼公と六人のご息との生活の拠点とし、日夜念仏教化に励まれたこと等、聖人の御苦勞が深く深く偲ばれました。

此度関東二十四輩の要所を巡拝することができましたことは大きな喜びであり、これからも信心を深め念仏を味わって参りたいと思います。合掌

小林清武

「ご縁の中に生かされて」

親鸞聖人御旧跡参拝に参加させていただきありがとうございました。今年は1月から歯科通いを始め、公民館での趣味グループへの参加など、いろいろなご縁が生まれました。そのひとつに本弘寺の日曜礼拝への出席があります。子供二人が住職さんが力を注いでおられる青少年育成の日本ボーイスカウトで大変お世話になり、親以外の方々にも大変な影響を受けて大人になりました。息子達も親となり、良い団体で育てられたのだと思いながら子供たちを育てているようです。

今やっと思日曜礼拝に出席させていただけるようになり、皆さんとともに正信偈を上げ、住職さんのご法話を聞き、礼拝に出席される方々のお元気な姿を見て自分も元気をいただき、感謝の手を合わさせていただいております。

今回は婦人会の“和”の中に入れていただき、親鸞様の御苦勞の布教の足跡にふれさせていただき、夢のようでした。たくさんのご縁をありがとうございました。

渡木純子



稲田の草庵にて

今後のお知らせと予定

日付	本弘寺行事	婦人会行事
11月21日	報恩講法要	
11月28日		東本願寺報恩講参詣
平成21年1月1日	午前0時より修正会	
3月17日～23日	20日午後1時半より彼岸法要	仏花販売・お茶接待